

マネーplus+

お金とくらしの 情報通信

2024.OCT
vol.16

JAから、相続や資産形成・資産運用などに役立つ
基礎知識やトピックスをお届けします。

Column
耳寄り情報

資産を増やす方法とは？

2024年3月、日本銀行はマイナス金利政策を解除し、金利のある時代へと大きく舵を切りました。預貯金金利もやや引き上げられた一方、2023年9月～2024年8月の物価上昇は、継続して2～3%を推移しており、預貯金の金利では追いつけない水準です。つまり、物価上昇が続くと、せっかく貯めたお金の価値は徐々に目減りしてしまいます。インフレリスクに備えるにはどうしたらよいのでしょうか。その方法の1つとなる投資信託をみていきましょう。

投資信託とは？

投資信託（ファンド）とは、多くの投資家（組合員・利用者）から集めた資金を、運用のプロであるファンドマネジャーが資産（株式・債券など）を運用し、その結果を投資家に還元する金融商品です。投資家1人あたりの投資額は、少額から始められますが、運用資金は数百億円などまとまった金額となるため、多くの銘柄に分散投資できます。

例えば、日本株で運用する投資信託の中には、2,000社以上に投資するファンドもあります。一般に個人が



©よりぞう

Message



日本が“金利のある時代”へと動き出す中、モノの値段は年々上がり続けています。このような状況で、将来のために自身の資産を守り、増やしていくためにできることについて考えてみませんか？

＼資産運用の専門家がお届けします／

fpフェアリンク株
代表取締役

白浜 仁子

Shirahama Tomoko

2,000社の株式を購入するのは難しいと考えると、投資信託を購入するだけで多くの銘柄に分散投資ができる、ということは大きな魅力です。

投資信託のしくみ

投資信託は、運用を担当する「委託会社」、資産を保管・管理する「受託会社」、投資家（組合員・利用者）の窓口となる「販売会社」の3つの組織で運営されています。

●委託会社

投資信託を運用する会社で、運用会社ともいいます。様々な調査・分析をしたうえで株式や債券など投資する銘柄を選び、運用（売買）指図を行います。

●受託会社

主に、信託銀行が担います。投資家から集めた資金を保管・管理する金庫番のような役割で、委託会社からの指示に従って銘柄の売買を行います。

●販売会社

JA、銀行や証券会社など、投資家（組合員・利用者）の窓口となる金融機関です。投資信託は、販売会社を通じて購入することができます。

■投資信託のしくみ

